

2018年8月23日

碧南市議会議長

沓名 宏 様

新日本婦人の会 碧南支部

代表者氏名

住所

電話

紹介議員

市内小中校の普通教室への 空調機器（エアコン）設置を求める請願書

請願趣旨

深刻な猛暑がつづくなか、小中学校の普通教室への空調機器（エアコン）設置は、児童・生徒の生命にかかわる重大かつ喫緊の課題となっています。

文部科学省は4月、学校環境衛生基準の一部を改正し、教室の望ましい温度についてそれまでの10～30度から17～28度に変更しました。

しかし、その後も、教室の室温は基準を大幅に越え、酷暑の教室で授業を受けざるを得ない事態になっています。

7月17日には、豊田市の小学1年生が熱中症死するという痛ましい事故が発生しました。

新聞が報道した文部科学省の調べ（2017年4月1日）によると、公立小中学校の普通教室のエアコン設置率は、全国は49・6%で、愛知は35・7%にとどまっています（「中日」7月19日付）。愛知県は全国2位の財政力を持つにもかかわらず、エアコン設置率が全国水準にも及ばない状況です。碧南市においては、夏場の教室温度も測定していません。今後、学校環境衛生基準をどのように達成するつもりでしょうか。

専門家は「エアコンは子どもを熱中症から守るための最低限の施設整備」（名古屋大学大学院・内田良准教授）と指摘しています。

碧南市の小中学校で、児童生徒の健康と生命を守るため、学校の普通教室へのエアコン設置を急ぎ、教育環境改善に全力挙げて実現することを求めます。

請願項目

- （1）小中学校の普通教室のエアコン設置を一刻も早く実施すること。
- （2）市町村立の小中学校の普通教室のエアコン設置を援助する県独自の補助を求めること。
- （3）国に対し、エアコン設置の「学校施設環境改善交付金」の増額を求めること。
- （4）年間を通じて、学校衛生環境基準を達成するために、教室温度を測定し、公表すること。
- （5）児童生徒の野外活動や部活動など、炎天下での屋外行動については健康と生命優先の立場で対処すること。